

松本翔は取り組みます！



# 令和3年第4回定例会代表質問

## 渋谷区議会議員 松本 翔

### 現役子育て世代の視点で提言しました

2021年11月24日、令和3年度第4回定例会初日に自由民主党議員団を代表して一般質問を行いました。約45分、文字にして約14,000字の内容を抜粋し、大きく6項目を掲載します。



#### 新型コロナウイルス感染症対策

ワクチン接種に関し、高齢者を対象とした1回目の予約受付で混乱が生じた反省を踏まえ、今後の3回目接種（ブースター接種）では、コールセンターを増設して受付体制を整備することや、個別医療機関での接種を再開するなど接種体制を整備することを提言しました。また、デジタル庁により新型コロナワクチン接種証明書アプリの運用が始まったことを踏まえ、高齢者をはじめスマートフォンを使わない区民へ接種証明書に関する丁寧な周知を求めるとともに、オミクロン株の出現などが懸念されるなか、区内各店舗における感染防止対策への支援を求めました。

#### 安全・安心な区民生活

渋谷駅周辺のハロウィーン対策として警備等に多額の財政支出をしている現状から、将来的な区の財政負担の軽減を求めるとともに、昨年度より区が主体的に消去している区内建設物への落書き対策について、予算措置の継続・拡充に加え、警察と連携した取り締まりの強化や、メディアと連携した啓発の強化を提言しました。また、路上喫煙防止対策では、民間喫煙所の整備拡充のため、実情に合わせ1件当たりの助成金増額を提案するとともに、渋谷区の空き家対策について、来年度における実態調査と実効性ある対策を求めました。

#### 教育について

議案提出された渋谷図書館の廃止について、地元区民の意見を十分に聞いたうえ、図書館の空白地域解消のため再検討するよう強く求めました。また全校で導入するデジタル教科書をはじめ、子どもの学びの保障のためのICT教育のさらなる充実や、いじめ防止対策の徹底を提言しました。さらに、小中学校での校外学習における海のプログラムの場として、渋谷区の施設である「河津さくらの里しづや」の整備および今後の活用を提案しました。



#### 福祉について

新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染状況が落ち着いてきたことを踏まえ、特別養護老人ホームにおける面会制限の緩和について提言しました。また、障がい者福祉として一般社団法人シブヤフォントへの支援策を提案するとともに、コロナ禍の外出自粛で低下が進んだ運動機能の回復や、「人とのつながり」を目的として、高齢者を主な対象とした「渋谷ハチコウ大学」でのジョギングやウォーキングといった運動系講座の開設を提案しました。



#### 地域振興について

商店街振興や地域コミュニティの活性化として、渋谷区独自の地域通貨の導入について提案しました。またスポーツ施設や社会教育館といった区有施設について、予約システムの改善や振り込みやカード決済など多様な決済方法への対応、区民へのさらなる周知など、利用率を向上させる取り組みを提言しました。さらに区が進めている起業家への支援やデータ利活用について、区民サービスの向上につながる観点から問いただすとともに、区として庁内横断的なワンストップ体制で取り組むよう求めました。

#### スポーツについて

現在9種目で試行中の区立中学生を対象にした部活動の合同化・地域移行化の取り組みについて、合同部活動を行いやすい環境や競技特性がある陸上競技等、今後の種目追加を提言しました。また区立小学生を対象にした放課後クラブについては、有料のスポーツプログラムが夏・冬休み期間中のみであることから、通年での実施とするなどの拡充策を求めました。さらに五輪・パラリンピックのレガシーとして、区民が区内施設でパラリンピック競技を体験できる環境を整備することや、新しいスポーツイベントの開催についても提案しました。